

第32回JOCカップ大会第4日

1月4日(木)

試合方法

競技規定

- (1) 試合規則はFIE試合規則最新版を準用する。
- (2) 試合方法は、プールとエリミネション・ディレクトの混合方式とする。
- (3) 競技方法

◆決勝

4名の選手によるエリミネション・ディレクトとする。
3・4位決定戦を行う。

◆プールにおける順位決定(上位進出)方法…(全体のプールの中で)

- (1) 勝率の高い方を上位とする。
- (2) 指数(TD-TR)の高い方を上位とする。
- (3) TDの多い方を上位とする。
- (4) 2人以上の選手が、(1)、(2)、(3) 全て同率の場合、順位表の序列は、抽選によって決める。
但し、2回戦進出最終順位に2名もしくはそれ以上の選手がいた場合、
バランジは行わず同順位の選手は全て2回戦へ進出させる。

◆プール戦について

- * 試合は、片方の選手がトウシュを5本先取した時、または有効な試合時間が3分経過した時に終了する。その時点でトウシュを多くとっている選手が勝者となる。
- ① 記録は5本先取した時、勝者にはV、敗者にはその時点の突数のみを記す。
例) 5対3の場合-V:3
- ② 上記以外でトウシュに差がある場合は、勝者にはVの後にその時点の突数、敗者にはその時点の突数のみを記す。
- * エベに於いては、4:4からのクー・ドゥーブル及びタイム・アップ後のクー・ドゥーブルはカウントしない。
- * 規定時間終了時に同点の場合は、次のとおりである。
- ① アドバンテージ決定のための抽選後、1分間を限度として1本勝負を行う。この間に勝者が決定しない場合はアドバンテージを有する選手が勝者となる。記録は勝者にはVの後に同点時のスコアを記し、敗者には、同点時のスコアのみを記す。
- ② 1本勝負で勝者が決した場合、記録表に記入するスコアは、勝者にはVの後に同点時のスコアに1点加算し、敗者には同点時のスコアのみを記す。

◆エリミネション・ディレクト戦について

* 同チーム所属考慮の原則については、このエリミネション・ディレクトは適用されない。

* エリミネション・ディレクト戦の対戦は、15本勝負で、3分間×3セットに分けられた最高9分間とする。ED128までは10本勝負とする

セット間には1分間の休憩がある。この休憩の間に、試合前に指定されたコーチは、自分の選手に話しかけることができる。

- * 1分前の警告は無い。各セットの開始時は常に両選手を中央に位置させる。
- * その他、試合時間と記録については、上記プール戦の規定に準ずる。

◆用具検査

* 本競技会の武器・装具の検査は全てピスト上に於いて主審が実施する。

試合方法(ジュニア男子フルーレの部)

158 スーパーシード16名

1回戦 142 名

6 プール ×	19	114	}	上位	100	名上がり
7 プール ×	4	28				
プール数	23	142				
16 プールシード						
84 予備戦						

※エリミネション・ディレクトから15本勝負(3分間×3セット)

※決勝戦4名(選手紹介)3位決定戦を行う

試合方法(ジュニア女子エペの部)

101 スーパーシード16名

1回戦 85 名

6 プール ×	6	36	}	上位	60	名上がり
7 プール ×	7	49				
プール数	13	85				
16 プールシード						
44 予備戦						

※エリミネション・ディレクトから15本勝負(3分間×3セット)

※決勝戦4名(選手紹介)3位決定戦を行う

試合方法(ジュニア女子サーブルの部)

91 スーパーシード16名

1回戦 75 名

6 プール ×	2	12	}	上位	53	名上がり
7 プール ×	9	63				
プール数	11	75				
16 プールシード						
37 予備戦						

※エリミネション・ディレクトから15本勝負(3分間×3セット)

※決勝戦4名(選手紹介)3位決定戦を行う